

西暦 2021 年 5 月 6 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：

薬剤部ポリファーマシー対策チーム設置における薬剤総合評価に関する有用性の検証：前方視的及び後方視的ミラーイメージ研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

藤田医科大学病院において、ポリファーマシー対策チーム設置前半期間（2020 年 9 月～2021 年 3 月）に薬剤総合評価調整加算および退院時薬剤情報管理指導料が算定された方

藤田医科大学病院において、ポリファーマシー対策チーム設置後半期間（2021 年 7 月～2022 年 1 月）に持参薬評価報告書にてスクリーニングされた方

スクリーニング基準：65 歳以上、入院時内服数 6 剤以上、予定される入院期間 2 週間以上

研究対象者数：本チーム設置前における各算定実施患者 50 例、本チーム設置後におけるスクリーニング患者 200 例

2. 研究目的・方法・研究期間

高齢者は、一般的に加齢に伴う生理機能低下により薬物動態が変化し、薬剤の効果・副作用が成人と異なる反応を示すことがあります。また、複数の基礎疾患を抱えている場合はそれぞれで投与された薬剤で多剤併用となり、その薬物相互作用により薬物有害事象のリスクが生じやすいことが知られています。

ポリファーマシーとは単に多剤併用であるだけでなく、併存疾患の存在、薬物有害事象のリスク増加や服薬アドヒアランス低下等の問題につながる状態です。その是正は、患者－薬剤師の双方にとって重要な課題であり、入院イベントは処方を見直す一つの機会と捉えることができますが、実臨床では「主科以外の薬剤調整が難しい」、「患者の理解が得られない」など様々な問題が障壁となります。また、急性期病院では在院日数が短いため介入する時間が限られるといった背景も存在します。

上述の課題を解決するため、薬剤部内にポリファーマシー対策チームを設置します。ポリファーマシー対策チームは入院時の持参薬評価報告書に基づき患者スクリーニングを行い、その患者の処方内容に対しチーム内カンファレンスを実施します。検討された内容は病棟

薬剤師にフィードバックされ、各病棟における処方見直しにつなげることを目的としています。

本研究では、ポリファーマシー対策チームによる処方見直しが、ポリファーマシーの是正に繋がるかどうか、その有用性を検証します。対象は藤田医科大学病院において、ポリファーマシー対策チーム設置前半年間に薬剤総合評価調整加算および退院時薬剤情報管理指導料が算定された患者さん、ポリファーマシー対策チーム設置後半年間に持参薬評価報告書にてスクリーニングされた患者さんです。ポリファーマシー対策チーム設置前後半年間の薬剤総合評価調整加算及び退院時薬剤情報管理指導料の算定実績をカルテデータから調査します。本調査の研究期間は本学倫理審査委員会承認日より 2022 年 3 月 31 日までとします。なお、本研究に開示すべき利益相反はありません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- ・ポリファーマシー対策チーム設置前後における薬剤総合評価調整加算及び退院時薬剤情報管理指導料の件数
- ・ポリファーマシー対策チームによって見直された処方の内容
- ・費用対効果算出に関わる各種費用（薬剤総合評価調整加算による診療報酬、カンファレンス費用、薬価等）等

4. 外部への試料・情報の提供

該当しない。

5. 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学臨床薬剤科 講師：波多野 正和

研究代表者：

藤田医科大学臨床薬剤科 講師：波多野 正和

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範

囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 臨床薬剤科

担当者：波多野 正和

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2128

e-mail:hatanomasakazu@yahoo.co.jp